

評価専門委員会の位置付けと 委員提案

超伝導加速器利用推進チーム

河田洋

- 評価専門委員会の位置付け
- 委員提案

ERL計画推進室から 超伝導加速器利用推進チームへ

- 2017年からERL計画推進室をKEK内組織から廃止。
- ERL技術の出口戦略を策定し、その研究開発を担うためには、これまでERLについて研究開発を推進していたチームが引き続き協力できる体制が必要。
- 先端加速器推進部に部内措置として、超伝導加速器利用推進チームを設ける。
- cERLに関するこれまでの研究開発の成果をまとめる作業のために、2018年3月31日まで、ERL計画推進委員会を存続させる。

評価専門委員会の位置付け

- ERL計画評価専門委員会について(案)
- スケジュールの概要
 - 7月7日に評価専門委員会を設置
 - 超伝導加速器利用推進チームを中心に、「ERL計画成果報告書」を作成
 - 10~11月に評価専門委員会を開催
 - 評価専門委員会にて、「評価専門委員会報告書」を作成頂く
 - 12月頃に第2回ERL計画推進委員会を開催し、「評価専門委員会報告書」を審議頂き、承認を得たうえで公開

評価頂く内容の概要

超伝導加速器利用推進チームが用意する「ERL計画成果報告書」とプレゼンテーションを元に以下の項目を中心に評価とアドバイスを頂きたい。

- 次期放射光源のテスト機としてのcERLで、実証すべき項目の達成度と今後の課題
- 産業応用への展開を図るために今後開発すべき項目の妥当性とその実現に向けての課題

委員長および委員の提案

委員長： 加藤 政博

委員： 熊谷 教孝、腰原 伸也、花木 博文、濱 広幸、
古川 和朗、三浦 太一、山口 誠哉
(敬称略)